

梶山光遠 かいやまひろゆき 經濟史學者。明治二十九年一月九日大阪生れ、昭和二十九年二月十九日歿（九〇六一益）。昭和四年東京帝國大學經濟學部卒。十二年ヤチツク・シエーゼヤム研究員となり、龍門社と遊澤榮一傳記資料の編纂に従事。戦後は法政大學教授、東京教育大學教授と歴任。

著書『嵐のなかに百年—學問彈壓小史』（合著・向坂逸郎編著、昭和二十七年十二月一日劉草書房）、『近代日本の思想家』（合著・向坂逸郎編著、昭和二十九年一月二十日和光社）、『産業史の人々』（昭和二十九年四月二十日東京大學出版會「東大3・6版」）、『製絲労働者の歴史』（他二名共著、昭和二十年十月二十日岩波書店「岩波新書」）、『政商』（昭和二十八年八月十日筑摩書房「グリーンベルト・シリーズ」）、『政商から財閥へ』（昭和二十九年四月五日筑摩書房「グリーンベルト・シリーズ」）等。